

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム まごころの家・いんべ
サービス種類…認知症対応型共同生活介護
会議開催日…令和 7年 7月 22日
開催場所…グループホーム まごころの家・いんべ

出席者

事業所	2人	利用者	人
利用者家族	2人	地域代表者	人
松江市職員	1人	包括支援センター	1人
知見を有する者	人	その他 ()	人

議事

活動状況報告（令和7年6月～7月）

・父の日イベント

2名の男性利用者へバラの花を1輪プレゼントしお祝い膳を提供しました。

・誕生会 6月誕生者2名、7月誕生者の該当はありません。6月の誕生会を合同で行いスタッフ手作りのケーキや祝い膳でお祝いしました。

・七夕かざり

利用者にそれぞれ願い事を短冊に書いて頂き笹に飾りつけしました。ちらし寿司やソーメンの七夕メニューを提供しました。

・夏祭り（たこ焼きパーティー、パンバイキングなど）

7月24日にたこ焼きを焼き、稲荷ずし、お刺身など提供し夏祭りを開催予定。

身体拘束委員会

・7月31日に身体拘束適正化検討委員会と虐待防止委員会も併せて実施予定。

会議中の質疑応答

事業所) 入居間もない利用者による無断外出があった。男性で身長も高く女性スタッフでは力及ばず施設外に出てしまわれた。グループホームでは本来自由に過ごして頂くことが良いのだが、当施設は玄関の目の前が車道な為、1人で出てしまうと大変危険である。他方面からの助言もあり玄関を出たところに蛇腹の門を設置しているが、業者などの出入りで門が開けた状態になっている事がある。

今回の事例を考えて門がきちんと閉まっているか常に確認するようスタッフへ注意喚起したところである。

松江市) 利用者の安全を守るということでは必要な措置だと思います。

包括支援 C) 安全対策は必要です。利用者の安全を守るためには必要な事だと考えます。

利用者家族 A) 毎月の活動が現在行われていないのは寂しい気がします。

事業所) 以前は音楽療法、フラワーアレンジメント、ボランティアの活動がありましたがコロナ以降自粛の流れとスタッフ不足により人手が足りない状態である。しかしながら、当日のスタッフの人数によりクラブ活動的なことをやっていくのも今後は良いのではないか。利用者が得意なことなどをするすることで日常の意欲向上にもつながっていく。

松江市) 人員不足の話はどこでも出てきます。全国どこでもある話でどうすればいいのか。H9.4 月にはまた新しい施策が出来てくるとは思います。それまでのところで、日々改革することが必要です。

事業所) 安定的な給与体系を保つ。介護報酬の安定が必要。

松江市) 自治体との活動が薄くなっているのか。連携を強めていければよいと思います。

包括支援 C) 地域に深く関わりのあるコミュニティソーシャルワーカーがおり、忌部地区担当がいます。声を掛けて頂くことで地域とのつながりに協力できます。

事業所) 法人の理事を忌部地区の方にもお願いしていくことを考えた方がよいと思う。

利用者家族 B) 1 ユニットは 9 人ですか？現在は空きがある状態ですか？スタッフが少ないために入居できないのでしょうか？

事業所) 人員不足も一部ありますが、入居申し込みされている方がまだ、医療的ケアが必要で入居できない状態のかたや入居後に掛かる費用が高いなどがあげられます。また、忌部という土地柄、市内から遠いとの意見も聞きます。バスなど減便や廃止もありここまで来る手段が見つからない。

利用者家族 B) 交通手段であるバス等の乗務員も人手不足と聞きます。将来子供たちがこんな職業もあるよ、楽しいと思って貰えるようにしていけば良いと思います。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	